

山 行 報 告 書

山行報告者: 加 藤

山 域・山 名: 湯ノ沢峠～大谷ヶ丸 (1640～1643.8m) (山梨県 市町村)	
入山日又は期間: 平成30年10月3日(水) 日帰り	
プラン担当者 正:	副:
参 加 者	加 藤 計 1 名
天候 晴れのち曇り (→大蔵高丸付近から富士山)	
月 日()	集合時間: 午前 時 集合場所:
10月3日 (水)	5:10 南浦和駅から武蔵野線～西国分寺を經由、高尾から中央線乗車、 大月駅下車 7:00 大月駅前からハマイバ行バスに乗車、7:24 ハマイバ前で 下車 7:25 真木小金沢林道出発～9:00 林道終点～10:10 湯ノ沢峠着、 トイレ休憩 11:10 大蔵高丸通過～11:40 ハマイバ丸通過～12:50 大谷ヶ丸着、昼食 13:15 出発～13:55 コンドウ丸通過～14:10 曲沢峠着、休憩～14:45 大鹿峠着、休憩～15:40 林道へ降りる～16:30 笹子駅着、 16:47 高尾行きに乗車
装 備 と 食 糧	個人装備: ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、防寒具、食料、 水 (500ml)、テルモスに湯 (900ml)、スパッツ、着替え 個人食: 朝食、昼食、行動食
感 想	このコースは山に登り始めた最初のころ、冒険心満々で一人で歩いた道だった。まだまだ紅葉は早いと知りつつも、初心を思い出しながらしみじみ歩きたくなって、前日に山行を決めた... 感想&注意事項 次ページへ

感想&注意事項

紅葉前の平日とあって、やはりというべきか、丸一日歩いて誰にも会わなかったが、この山域独特の突き抜けるような明るさと清涼感が、何度来てもやっぱり清々しい。約1時間半の林道歩きを終え、林道わきから山道に入って1時間もすると、もう湯ノ沢峠。そこからさらに黒岳～大菩薩嶺へと気持ちは登り続けるのだが、時間の都合上、ここで下り始める。

大蔵高丸を過ぎたあたりから、南アルプス～ハケ岳～(たぶん)甲武信から瑞牆などの山々が、折り重なるように遠くに見渡すことができた。

特別に頂の白い山はもしかすると甲斐駒だったろうか。そして富士山のあり余る存在感。一面に広がるすすき野原がザワツツ…と波打つ中に私一人である。

この寂寥感が沁みるのである。…とまあ無害な感傷に浸りながら歩を進め、ハマイバ丸、太谷ヶ丸、大鹿峠とずんずん高度を下げてきて5時間半後には甲州街道に続く林道に降りた。林道も含め、今回のコース全体を通して、非常に山が荒れていた。

この夏の台風乱発の影響だろう。結構な太さの木がメリメリ折れて登山道をあちこち塞いでいた。それに加えて落ち葉や小枝で踏み後が埋まり、たったそれだけのことで見慣れたはずの景色が初めて見る景色に変わっていた。

何度も道を逸れてしまい、見渡すと見覚えのない角度からの景色なものだから、そのたびに血の気が引く思いがした。

勝手知ったる山、という油断もあったのだと思う。何回、何十回通っても、そのたびに山は違う顔になることを、忘れてはいけないと思った。